

# 市政ニュース

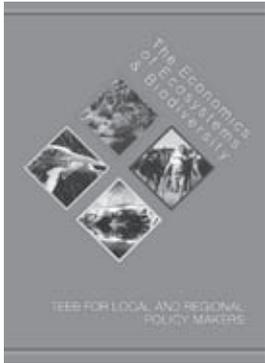
## 生物多様性に関する国際的な報告書の中で、豊岡の取組みが紹介されました！

「生態系と生物多様性の経済学(TEEB)」報告書の地方自治体編(D2)の概要版が、国連環境計画(UNEP)プロジェクトチームによってまとめられ、公表されました。

その中で、本市の取組みが世界の先進的な事例として紹介されています。

TEEBは、欧州委員会やドイツ政府などの支援を受け、ドイツ銀行理事のパバン・スクデフさんをリーダーに、2007年にプロジェクトを立ち上げ、2008年ドイツでの生物多様性条約第9回締約国会議(CBD/COP9)で中間報告、今年10月の名古屋でのCBD/COP10で最終報告が予定されています。

このプロジェクトでは、生物多様性の損失について、経済学的な観点から世界レベルの研究を進めており、各国の政策決定者や地方自治体、事



▲TEEB報告書

業者、市民に対して、この危機に対する具体的な対処方法を示し、さらには各主体が正しい意思決定や選択ができるよう、世界中の参考となる政策や取組事例、ツールを紹介することなどを狙いとしています。

報告書は、5つの分野(D0)～(D4)で構成されており、D2の概要版はTEEBのホームページで公開されています。  
(<http://www.teebweb.org/>)

市は、10月の「CBD/COP10」や「第4回コウノトリ未来・国際かいぎ」などを皮切りに、今後も国内外に積極的に情報発信していきます。

## 豊岡エキシビション2010に続く、豊岡エクスカーション2010開催

9月16日と17日の2日間、マスコミなどを対象とした豊岡の取材旅行「豊岡エクスカーション」を実施しました。

このエクスカーションでは、「コウノトリと生物多様性」「豊岡の匠」観光地の3つの取材プログラムを用意しました。

当日は、7月7日に東京・秋葉原で開催した情報発信イベント「豊岡エキシビション」の出席者を中心とした30人が参加し、「想像以上に良い所」「新たな発見があった」などの

声が聞かれました。

今後は、参加者が持つ情報媒体などで豊岡市を発信していただき、1人でも多くの方に本市を知っていただくことを期待します。



▲新田小学校の稲刈りを見学

## 市内全中学生2,600人の力を結集！10月8日(とよおかの日)中学生ボランティア大作戦実施

豊岡市中学校連合生徒会では、10月8日を「とよおかの日」と銘打ち、市内全中学校(11校)の生徒約2,600人がアルミ缶回収を行いました。

実施に当たっては、家庭や地域に協力を呼び掛け、当日各生徒がアルミ缶を学校に持ち寄りました。

各学校から日高西中学校に運搬し、最終的には630キ



▲生徒の呼び掛けで集まったアルミ缶の山

ログラムの缶が集まりました。収益は、福祉用品の購入などに役立てる予定です。

### 主な市政の動き

- 9月
  - 16日 豊岡エクスカーション2010(17日)
  - 17日 「e」通勤プロジェクト推進街頭キャンペーン
  - 18日 第19回全国中学新人競漕大会(19日)
  - 出石伝建地区「住宅改修相談会」「でんけん研究会」「修理現場見学会」
  - 23日 「国際ペン」東京大会2010で市長講演
  - 25日 田舎暮らし体験in豊岡(26日)
  - 27日 中心市街地のまちづくり会議
  - 28日 「今後の上下水道料金のあり方」を豊岡市公営企業審議会答申
- 10月
  - 2日 第43回日本女子ソフトボール1部リーグ豊岡大会(3日)
  - 4日 山陰海岸ジオパークが世界ジオパークに認定
  - 8日 10月8日(とよおかの日)中学生ボランティア大作戦
  - 11日 10月8日(とよおかの日)中学生ボランティア大作戦

さまざまな場で豊岡を紹介！

## 中貝市長が「国際ペン東京大会2010」で講演

9月23日から10月1日までの9日間、東京都などで開催された「国際ペン東京大会2010」の初日、「環境映画祭」の中で、中貝市長が、「コウノトリと共に生きる―豊岡の挑戦」と題し、コウノトリの絶滅と復活の物語、生物多様性と農業、環境経済戦略など、豊岡の取組みについて講演しました。

国際ペン大会は、世界で年1回開催されていますが、社

団法人日本ペンクラブが創立75周年に当たる今年、四半世紀ぶり（前回開催は1984年）に日本で開催されました。今年も国際生物多様性年。

人と生きものとの共生について関心が高まっていることもあり、参加者からは驚きや感心の声が上がりました。本市の取組みを世界に発信する絶好の機会となりました。

### ■社団法人日本ペンクラブ

1935年11月創立。初代

## 円山川で熱戦を展開！

9月18日と19日の2日間、円山川城崎漕艇場で、第19回全国中学新人競漕大会が開催されました。

この大会は、ボート競技を通して青少年の健全育成とボートの普及・振興を図ることを目的に、全国の中学校ボート部、ボートクラブ所属の中学1・2年生を対象として開催しているものです。

当日は、19校103クルー

## 第19回全国中学新人競漕大会開催

が参加し、男女別に舵手つきクオドルプル（4人漕ぎ+舵手）、ダブルスカル（2人漕ぎ）、シングルスカル（1人漕ぎ）の3部門でレースが行われました。

城崎中学校からも3艇が参加し、男子ダブルスカルの部で見事3位入賞を果たしました。

同日に、兵庫県内高等学校1・2年生による第51回兵庫

県高校新人大会ボート競技も併せて開催され、熱戦が繰り広げられました。



▲勢いよくスタートダッシュする参加選手



▲早稲田大学小野梓記念講堂で講演する中貝市長

会長は島崎藤村さん。第一線で活躍している作家、詩人、外国文学者、評論家などで組織されている。現在の会長は阿刀田高さん。

## 中貝市長の徒然日記 ③

### 城崎温泉物語

城崎温泉を訪れる外国人観光客が増えています。宿泊してみると、平成16年に649人であったのが、平成21年には1,965人と、絶対数は小さいのですが、3倍にもなっています。最も多いのがヨーロッパからで591人、次がアメリカからで300人です。

ロンリープラネットという、旅行ガイドブックがあります。英語圏でのシェアが25パーセントという、英語圏最大の旅行ガイドブックです。その日本編の中で温泉が取り上げられていて、日本のベスト温泉12のうちの1つとして城崎温泉が紹介されています。しかも、温泉街としては、城崎が最高であり、温泉旅館としても城崎のN旅館が最高であると書かれているのです。

これを読んで、あるいは口コミで外国人観光客が増え続けているものと思われまふ。城崎温泉は、木造3階建ての旅館が連なっています。その和風情緒の古い町並みが

人々を引きつけています。しかしこの町は、大正14年の北但大震災で潰れ、しかも火が出て灰になった町です。

そこから城崎の復興が始まりました。まず、防災対策として川を広げ、道路を広げ、しかも地上げをして水害にも備えました。類焼を食い止めるため、町の要所所りに鉄筋コンクリートの建物を「火伏壁」として配置するとい

う、当時としては最先端の防災対策を施しました。その上、復興のコンセプトは「元に戻す」でした。洋風建築物で再建するという県の提案を、「和風こそが城崎である」として退け、木造3階建ての町並みが再建されたのです。

失われた大切なものを取り戻す。その姿勢が、今日の城崎のまちを支え、外国人観光客の増につながっているのだと思います。ご存じでしたか？

